

# 2024年群馬県内企業の夏季ボーナス支給額アンケート

群馬経済研究所 主任研究員 半田浩己

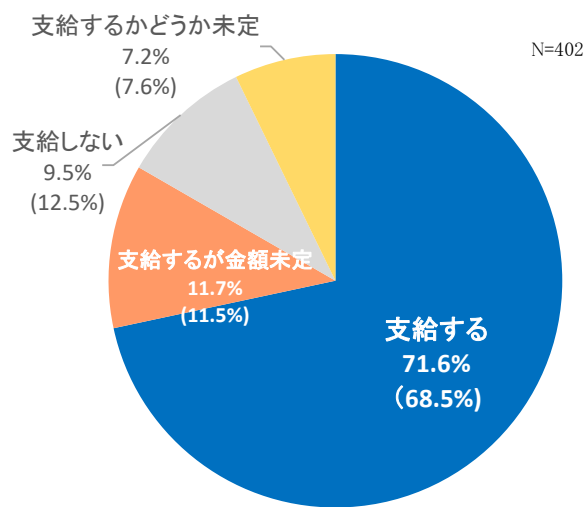
県内企業に対して、下記の通り、今夏季ボーナス支給額のアンケート調査を実施した。

【アンケート調査要領】	
調査時期	2024年5月下旬～6月上旬
調査対象	県内に事業所を有する企業 1984社
調査方法	郵送により配布、回収
回答数	402 (回答率 20.3%)

## 1. ボーナス支給の有無

ボーナス支給の有無については、「支給する」と「支給するが金額未定」の企業を合わせると、83.3%が今夏ボーナスを支給する予定である(図表1)。昨夏の調査では、同80.0%であり、前年比でやや増加した。

図表1 夏季ボーナス支給  
(括弧内は前年の調査結果)



注: 四捨五入の関係で合計が100%にならないことがある。以下同様。

## 2. ボーナス支給額の見通し

ボーナス支給見込み額と昨夏の実績をあわせて尋ねたところ、従業員数で加重平均した今夏の一人当たりボーナス支給額は、47万6900円(昨夏比+6.8%)、平均支給月数は、1.83カ月(同+0.06カ月)となる見通しである(図表2)。

昨夏に比べ、製造業、非製造業とも支給額および支給月数が増加している。

図表2 県内企業の夏季ボーナス支給額と支給月数

(単位: 社、円)

	回答企業数	支給額			支給月数		
		24年	23年	増減率	24年	23年	差
製造業	79	515,300	483,700	6.5%	2.04カ月	1.98カ月	0.06カ月
非製造業	147	446,600	416,700	7.2%	1.67カ月	1.61カ月	0.06カ月
全業種計	226	476,900	446,500	6.8%	1.83カ月	1.77カ月	0.06カ月

注: 業種不明先を除く。100円未満を四捨五入。

従業員規模別では、今夏の支給額は昨夏に比べて、すべての従業員規模で支給額が増加する見通しである（図表3）。

図表3 従業員規模別の夏季ボーナス支給額

（単位：社、円）

従業員数		29人以下	30人以上 99人以下	100人以上 299人以下	300人以上
		回答企業数	84	93	37
支給額	① 24年	421,500	433,200	495,000	529,200
	② 23年	402,500	414,600	444,400	508,000
	差額①-②	19,000	18,600	50,600	21,200
	増減率	4.7%	4.5%	11.4%	4.2%

注：従業員数不明先を除く。100円未満を四捨五入。

### 3. ボーナスの支給時期

県内企業のボーナス支給時期については、7割弱の企業が7月に支給する見込みである（図表4）。

今夏はボーナス支給額が増加する見通しであるが、一方で、物価や光熱費の上昇を背景に節約志向の広がりもある。ボーナスのうち、どの程度が消費にまわるか注目したい。

図表4 夏季ボーナス支給時期

（単位：社）

支給時期	回答企業数	回答率
5月以前	8	2.4%
6月1日～10日	14	4.3%
6月11日～20日	21	6.4%
6月21日～30日	29	8.8%
7月1日～10日	80	24.3%
7月11日～20日	88	26.7%
7月21日～31日	50	15.2%
8月以降	39	11.9%
合計	329	100.0%

### 4. ボーナス支給に影響を与えた外的要因

今夏のボーナス支給の有無やボーナス支給額に影響を与えた外的要因では、「消費者物価の上昇」が52.9%と最多で、次いで「人材の確保」「原材料価格の上昇」がそれぞれ50.8%となり、いずれも半数以上となった（図表5）。

今冬の予想については、今夏と大きな違いはないが、「消費者物価の上昇」や「原材料価格の上昇」、「エネルギー価格の上昇」の影響をより重視する企業が増えるとみられる。

図表5 ボーナス支給に影響を与えた外的要因（複数回答）

